

おはようございます

きのうは、急に雷がなったり雨がふってきたりして驚いた人もいたことだと思います。昼間あたたかくなってきたので、夏のような夕立になりました。

最近は、少しひんやりすることもありますが、どんどん暑くなってきましたね。半袖で登校する人も増えてきました。

きのうのような夕立は、今頃の季節、じつはめずらしいことではありません。

昔の人は、春夏秋冬 という季節をもつとこまかくわけて 24に分けていたことは、二年生以上の人には時々話しているので覚えているでしょうか。二十四節気と言います。

それをもつとこまかく七十二に分けた暦もあって、七十二候（しちじゅうにこう）といいます。今年は4月15日からの5日間を、

「にじ初めてあらわる」

といいます。

ざーっと強い雨がふって、そのあとばあっと晴れると、虹がかかることがありますね。夏の夕立のときによく見られます。きのうは、虹は見えなかつたかもしれませんが、ああして短くざつとふつたような雨が、昔から今頃の季節にはよくあつて、雨の後にきれいな虹が架かるのを、昔の人も見上げていたのでしょうか。そして、これからどんどんあつくなって、畑の作物が大きく育つようになるのを楽しみにして働いたのだと想像します。毎年忘れないように、こうして暦、カレンダーにして楽しみにしていたのでしょう。

今年は少し雨が少ないので、草木ややさい、草花など、昨日の雨をよろこんだと思います。

雨は苦手という人も、植物、とくに畑の作物にとっては、成長するのに必要な大事なお水ですから、ちょっとがまんして、楽しいことを見つけてください。

雨が好きなカタツムリが、あじさいの葉にのっているかもしれないし、岩小の花もどんどん増えてくると思います

きれいなもの、美しいものを見て、きれいだな、いい気持ちになるな、と感じられる人は、心がきれいなしるしです。そういう人は、きっと友達に対しても、優しく接することができる人なのだと思います。

そして、その花たちに対して、木や花にボールがぶつからないように気をつけたり、時々そっと眺めたりしたりしながら、これからも「花の岩淵」と誇らしく思えるように、学校の花や緑を大切にしていきましょう。

今日も、またざつと雨が降るかもしれません。もしもあたら、今年初めての虹が見えるかな、と探してみてください。

お話を終わります。